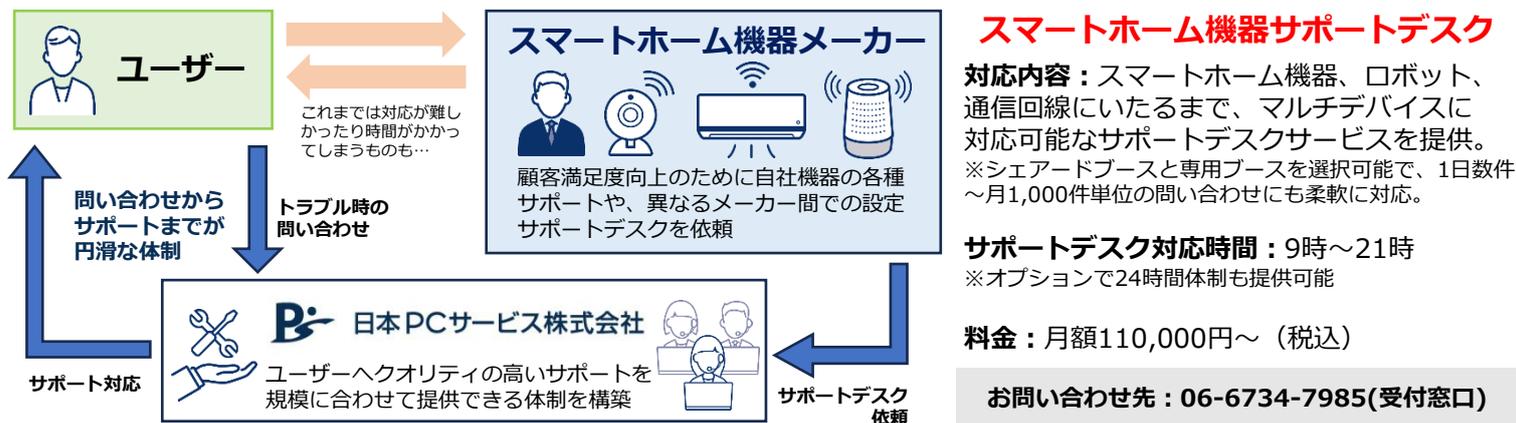


超高齢化社会に向けてスマートホーム化の障壁を日本PCサービスが解決 スマート機器・ハウスメーカー向けサポートデスクを開設

デジタルインフラの設定・修理・トラブル解決を行う日本PCサービス株式会社（本社：大阪府吹田市、代表取締役社長：家喜 信行、証券コード：6025、以下「当社」）は、2026年3月2日(月)よりスマートホーム機器メーカー、ハウスメーカーを対象にアフターサポート体制を簡単に構築できるサポートデスクサービスの提供を開始します。

【背景】当社はスマホ・パソコン・IoT機器など、デジタルのお困りごとを解決する独立系サポート企業です。DX時代の身近なデジタルのかかりつけ医となるべく、全国に訪問・持込380拠点、365日24時間対応のコールセンターなどのサポート網を持ち、最短即日で年間42万件の対応実績があります。家の中のあらゆるものをインターネットで連携し、生活利便性を向上するスマートホーム化を進める住宅は年々増加傾向です。しかし便利なはずのスマートホームも複数のメーカー製品を横断した連携設定・操作の複雑さ、宅内の通信環境により動作が安定しないなど、スマート機器メーカーやハウスメーカーへ顧客からの問い合わせが増加しています。ネットワークの知識を要するユーザーサポート体制をメーカー1社のみで0から構築することは容易ではありません。そこでマルチメーカー対応が可能な当社がスマートホーム機器のサポートデスクをパッケージ提供します。デバイス・宅内の環境など顧客ごとに異なる状況に対応可能なサポート体制によりメーカー課題を解決し、顧客満足度向上とスマートホーム化の促進を実現します。



超高齢化社会に向けて働き手不足による家事負担の軽減、高齢世帯の生活サポート実現へ、スマートホームの促進にはサポート体制が重要

2025年12月の「LIVING TECHカンファレンス2025」にて、スマートホーム関連業界のトッププレイヤーによる公開討論が行われ、当社取締役 濱崎 慎一も登壇しました。討論会では、日本でのスマートホーム普及における課題と仕組化について話し合いました。質疑応答の時間には、大手住宅メーカー、住宅設備・スタートアップのスマート機器メーカーなどの担当者より「アフターサポート体制の構築課題」「関連するネットワーク知識の不足」など共通してユーザーサポートに関する質問があがり、宅内の環境やユーザーリテラシーに合わせたサポート体制の必要性が顕著になりました。



LIVING TECHカンファレンス2025登壇者一覧
写真右端
当社取締役（BPO事業管掌）濱崎 慎一

これから超高齢化社会を迎える日本では、高齢世帯の見守りや、在宅介護家庭、働く世代の家事負担軽減にスマートホーム化は有効です。当社グループでは全国インフラとサポートノウハウを源泉に、スマートホーム促進に今後も積極的に取り組みます。全国のデジタルインフラを支える「デジホ（デジタルホスピタル）」として、DX社会の暮らしとビジネス課題解決・価値創造を実現するサービスを提供してまいります。

日本PCサービス株式会社【証券コード：6025】

代表者：代表取締役社長 家喜 信行
設立：2001年9月
資本金：3億6005万円
事業内容：IT機器の修理・設定・トラブル解決（訪問・持込・電話等）
定額会員サービス、コールセンター受託、法人保守、取付設定工事 他
所在地：（大阪本社）大阪府吹田市広芝町9-33
（東京本社）東京都港区六本木2-4-5

日本PCサービス：<https://www.j-pcs.jp/> デジホ（デジタルホスピタル）：<https://www.j-pcs.jp/service/>
PCホスピタル：<https://www.4900.co.jp> スマホホスピタル：<https://smahospital.jp/>

デジホ  PCホスピタル
 スマホホスピタル
デジタルホスピタル  ゲームホスピタル